グリーン えっせんす

vol. 32

2015.3

公益社団法人 千葉県緑化推進委員会

特集1

身近な植物に目を向けてみよう
～気象と植物～

さまざまな植物が私たちの暮らしを彩り、
いろいろな形で生活に影響を与える日本の四季。
しかし、近年の異常気象などにより、そうした
四季折々の自然にも変化が現れているようです。
気象も植物も、私たちの毎日には
密接な関係を持つ事象。
今一度、じっくりと向き合ってみませんか？

桜の開花や紅葉 四季を知らせる自然の美

古来より、日本の四季を表す植物の代表といっても過言ではない桜の開花と紅葉。毎年当たり前のように花を咲かせ、葉を色づかせて私たちを楽しませてくれますが、これらの美しい自然は、気象状況と密接な関係にあります。

桜(ソメイヨシノ)の開花には冬の寒さと春の暖かさが必要。前年の夏に形成された花芽はそのまま生長することなく、夏が終わるといったん、休眠状態に。冬の厳しい寒さにさらされた後(休眠打破)、春の気温上昇を迎えて花芽は生長します。そのため春の気温が高ければ高いほどつぼみは早く生長し、開花時期も早まることとなります。

一方の紅葉は最低気温が大きく影響します。秋になり最低気温が8℃以下になると、木の働きが衰え、葉の付け根に離層という組織ができます。これにより葉に栄養が届かなくなり、葉の中にある緑色の色素が減少。イチョウなど黄色に色づく葉は緑色の色素が消えて、元々あった黄色の色素が見えるようになる現象です。また、カエデのように赤くなるものは、離層にたまったデンプンが日光に当たり赤色の色素に変化するもの。赤色の紅葉には、冷え込みと同時に日照も必要になるのです。

これら気温の変化が基本的な条件となるため、桜の開花や葉の色づきの時期は毎年変動するのです。

異常気象による変化

桜の開花には前年からの気温傾向が大きく関わることが分かっています。前年の秋から冬にかけて充分に冷え込むこと、そして2月後半以降に暖かさが増してくることが順調な開花には必要。過去のデータを元に、春に予想される気温でつぼみの生長の進み具合を計算し、予想開花日は算出されます。紅葉も同様に、過去の気温と紅葉のデータを元に、その年の秋の予想気温を照らし合わせて算出。どちらも、膨大な蓄積データがあるからこそ、算出できるものなのです。

こうした中、気になるのは近年の異常気象。地球全体で温暖化は進んでいるといわれており、日本でも1990年代以降は、過去100年間のどの期間よりも気温が高くなっています。桜の休眠打破には、一定期間寒さにさらされる必要があることを踏まえると、今後冬が暖かくなった場合、桜(ソメイヨシノ)が咲かなくなる可能性も生じ、ソメイヨシノ開花の南限が北上していくことが考えられます。

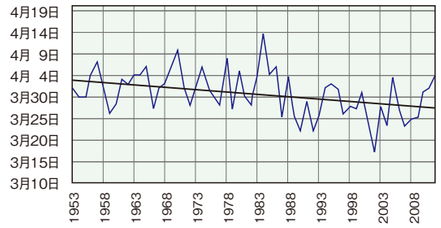
一方の紅葉は、その時期が遅くなる可能性が出てきます。ただし、紅葉は長期的な気象変動よりも、その年の気象条件に左右されている可能性もあり、現段階では判断することができないのも事実です。

千葉県でも変化 ソメイヨシノの開花時期

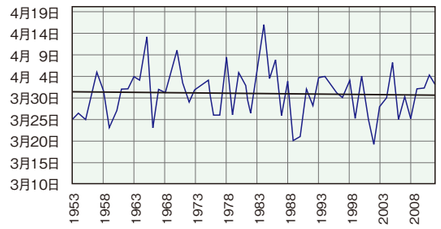
とりわけ関心が高いソメイヨシノの開花時期。千葉県環境研究センターによると、昭和28年以降50年間でソメイヨシノの開花日は、全国平均で約4日早まっており、3月中開花の割合は千葉県の銚子市で5%ほど増えています。他地域でもその割合は増加しており、緩やかながら温暖化の影響は実際に出ているといえます。

かつて入学式の象徴だったソメイヨシノですが、現在は入学式にはすでに散ってしまっていることも多く、だんだんと卒業式のイメージに変わりつつあります。“千葉県に桜の名所を”という願いから昭和51年に設立され、来年で40周年を迎える千葉県さくらの会では、苗木の配布や名所づくりを進めると同時に、千葉県環境研究センターのデータを分かりやすく公開。気象との関連をまとめたパネル展「ちばの気候・気象とさくら」を県内各地で行うなど、問題提起の取り組みも続けています。四季のある日本の美を後世に受け継いでいくためには、気象にも関心を持ち、向き合っていくことが必要なのかもしれません。

【熊谷／桜開花日の推移】



【銚子／桜開花日の推移】



【20年ごとに求めた、3月中の開花の割合(%)】

年	水戸	宇都宮	前橋	熊谷	千代田	銚子	横浜
1953-1972	15	15	35	30	60	45	70
1973-1992	25	25	50	50	75	40	60
1993-2012	50	55	60	70	100	50	85

知っておきたい！

見過ごせない！ スギ花粉のメカニズム！

くしくも、季節の変化を体感的に知る一つのファクターとなっているスギ花粉。毎年憂鬱な時期を過ごしている方も多いことでしょう。

その雄花は前年の夏ごろ作られ、秋にかけて生長。その中で大量の花粉が作られます。その後気温が下がり、昼の時間が短くなることで休眠状態に突入。真冬の寒さを経験し、春が近づき気温が上がることで雄花が開花。花粉を飛ばすようになります。その量は雄花が形成される前年夏の天候に左右され、晴れて暑い夏ほど多くできるといわれています。隔年で増減を繰り返す傾向もあり、これらのデータを元に、飛散量の予想は出されています。

誰もがリポーター 参加型で気象や自然と向き合おう！

天気予報だけでなくさまざまな自然現象の予想発表などを行う気象情報会社ウェザーニューズ社では、一般の方々の参加型による調査やレポートを積極的に行っています。

桜の開花や紅葉のリポートはコミュニケーション的な要素も含んだプロジェクト。見頃の予測調整や、お勧めスポットの情報共有を行うなど、多くの人が多角的に自然を楽しめるよう活用されています。

また、最も注目されるのはスギ花粉のリポート。インターネット環境の発達を活用し、症状についての情報などを収集。花粉ピーク時期などを随時更新して、“要注意”などのメッセージを発信しているほか、一般家庭や病院などに独自の花粉観測機“ポールンロボ”の設置も実施。花粉の飛散数のモニタリングを各地で行うなど、さまざまなデータ収集を行っています。

こうした取り組みに参加することは、自然と向き合うことのきっかけとなるかもしれません。

取材協力　千葉県さくらの会／株式会社ウェザーニューズ

特集2

知ってますか？
日本の伝統行事と植物

大切に伝えられてきた日本の伝統行事。その中で欠くことができないのが植物の存在です。
自然のものを上手に取り入れてきた知恵と美意識に、どんな意味があるのか、ご存じですか？

1月｜正月　門松（竹・松）

お正月に門や玄関に飾られる門松。松を依代（よりしろ）※として年神様が降りてくるとされているものです。松は常緑であることから縁起が良いとされているだけでなく、「祀（まつ）る」という意味もあり、同じく縁起の良い竹（長寿の意味）が添えられるようになったのは平安時代ごろといわれています。

※神霊が招き寄せられて乗り移るもの。

1月｜人日（じんじつ）の節句　七草

現在はあまり知られていませんが、五節句の一つめである1月7日のこと。七草はセリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロのことですが、地方により違いがあります。かつて七草粥には占いの意味もあったようですが、現在は正月に疲れた胃を休め、無病息災を願うものとなっています。

2月｜節分　柊鰯（ひいらぎいわし）（柊）

節分の魔よけとして知られる柊鰯。地域によって多少の違いがあり、呼び名も変わりますが、焼いた鰯の頭と柊を戸口に飾るというものが広く知られています。柊の葉のとげが鬼の目を刺し、追い払うといわれています。古くは平安時代、正月の注連縄（しめなわ）に柊を差したという記述が土佐日記に見受けられます。

3月｜桃の節句　桃

春の訪れを感じさせるひな祭り。華やかな雛人形とともに飾られるのが桃の花。日本神話では桃は魔除けや厄除けとされており、また中国では桃は不老長寿の薬といわれることが多く、桃源郷という言葉もこうしたことに由来しているようです。女の子の健やかな成長を願う節句にふさわしい可憐な花も魅力です。

5月｜端午の節句　菖蒲（しょうぶ）・柏

紀元前の中国に始まったともいわれる端午の節句。日本で男の子の節句となったのは鎌倉時代のこと。尚武※と同じ音であることから菖蒲を飾ったり、菖蒲湯に入ったりするのがよく知られています。また柏餅に使用される柏は、新芽が出るまで古い葉を落とさないため、家系が途絶えない縁起物といわれています。

※武事・軍事を重んずること。

7月｜七夕　笹竹（ささだけ）

生命力の強さを感じさせるような、まっすぐ天に向かって伸びる笹竹は神聖なものと考えられており、精霊や神様が宿る依代とされています。かつては祭壇に供え、五色の織糸をかけて裁縫などの技芸の上達を願ったものが変化。一般の家庭で飾るようになったのは、江戸時代ごろのことのようです。

8月｜お盆　桔梗（ききょう）・ほおずき

地域や宗派によって違いはありますが、一般的に精霊棚に飾られることが多いのはほおずきです。ほおずきは「鬼灯」と書くこともあり、そのふっくらとした形や鮮やかな朱色が、盆提灯のように見えるのが由来といわれています。ご先祖様の霊が帰ってくる時に、その足元を照らす意味があるのです。

9月｜重陽（ちょうよう）の節句　菊

桃の節句、端午の節句、七夕の節句と並ぶ９月９日の重陽の節句。近年はあまり知られていませんが、江戸時代ごろには五節句の一つとして庶民にも親しまれていました。菊の節句ともいわれ、菊酒や菊湯、菊枕などはとても風流。寿命を延ばすといわれている菊をさまざまな方法で使います。

10月｜十五夜　すすき

美しい月にお団子、そしてすすきを飾るのが定番の十五夜。十五夜はもともと収穫を感謝する意味もあり、芋名月ともいわれていました。すすきはその依代です。まだ稲が実る前の時期に稲穂に見立てられたともいわれており、また切り口が鋭いことから魔除けになるともされている秋の七草の一つです。

オススメします。この本　a bookshelf

「散歩で見かける 落ち葉の呼び名事典」

写真・文／亀田龍吉
世界文化社　1,500円＋税

著者は、館山市生まれの自然写真家。落ち葉を見ると、色、斑点、虫食い穴などからその葉の一年に思いを馳せることができるという。80種の葉を、紅と黄に分けて解説。「常緑樹の紅葉」「草紅葉」といったコラムがあり、一目で判別できる「PHOTO INDEX」は必見だ。眺めるだけで癒やされるが、散歩好きな人に贈っても喜ばれそう。

「桜守のはなし」

著者／佐野藤右衛門
講談社　1,500円＋税

全国を回り、傷ついた桜の手当てをし、桜の新種を探す。深い知見と愛情で、木々が成長し続けるように見守るのが「桜守」の仕事だ。京都弁の語り口が、何とも温かい。道具を見て仕事ぶりを知ると、桜の見方が変わってくる。小学校中学年から読めるが、写真も美しく、大人にも読んでほしい。瀬戸内寂聴が推薦文を書く。

今回ご紹介した２冊のいずれかを各１名様にプレゼントします。ハガキに、ご希望の書名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、（公社）千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係にご応募ください。また、本誌をご覧になった場所、ご意見、ご要望もお書き添えください。あて先は８ページ下、締め切りは７月末日（当日消印有効）です。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

グリーンキャンパス Part.32

今回は幼稚園

木の温もりに包まれ豊かな心を育む

── 学校法人富津学園 明澄幼稚園(みょうちょう)──

創立以来の木へのこだわり

富津市と君津市との境、豊かな自然に恵まれた小糸川沿いに明澄幼稚園はあります。園庭の桜の木々の間からは、遠く鹿野山を眺めることができます。昭和44年の創立以来、鼓笛隊などの「音感教育」や、木をふんだんに使った園舎を通して「木育※」に力を注いでいます。

「数年前から、老朽化による園舎の建て替えを検討し始めました。その際、旧園舎と同様に、木造にしようと最初から決めていました」と、園長の青木和彦先生は語ります。「自然素材の木には、コンクリートにはない優しい温もりを感じます。滑らかな肌触りとほのかに漂う木の香りは、子どもたちに落ち着きと癒やしを与えてくれます」と、言葉を続けます。

平成25年秋から工事が始まり、昨年8月、新園舎が完成しました。夏休み明けの新学期、真新しい園舎に子どもたちは大はしゃぎだったとか。

※木材の良さやその利用の意義を学ぶこと

県産の木材を多用。その良さを未来へと伝える

木材は、主に千葉県産を使用しています。床にはヒノキの無垢材を、壁や天井にはスギを使っています。自然光と風を十分に取り入れたいと、平屋ながら天井は最大5mの高さに。吹き抜け部分の高窓からは、夏は小糸川を渡る心地良い涼風が、冬場は暖かな日差しがさんさんと入り込みます。木は湿度の調節もしてくれるので、年間を通し、快適な園生活を送ることができます。

また、玄関の靴箱や、各教室内のロッカー、用具入れなど細部にまでスギ板を使用。地元の職人が仕上げました。

「子どもたちは、床に直接座ったり、寝転んだりして遊びます。木の床は、けがをする心配も少ないので安心です。真っ白だった床がだんだん黒くなっていくのも、味が出ていいのではないかと思います」と、園長先生。今後は、木の良さをじかに感じてほしいからと、園舎内では、裸足で生活をすることも頭の片隅にあるとか……。「子どもたちに、木の良さを伝えていくのも私たちの大事な役目です」と、話してくださいました。

突然ですが… 学校関係の皆さま、学校緑化に関わる情報をお寄せください

近年、団体・企業の社会貢献、環境貢献の一環として、当委員会を通じ学校の緑化に協力をされる事例が増えております。特に近年では、植樹のみならず、既存樹木の剪定やビオトープなど環境学習フィールドの整備等々幅広い事業が可能になることが多いのも特徴です。

当委員会としては、団体・企業等の申し入れと学校側の希望をできる限りマッチングさせ、学校環境の改善に努めたいと考えております。

そのためには常に学校の希望等をストックし整理しておく必要がございますので、これら緑化についての希望やお悩みごとなどを、ぜひ情報としてお寄せください。なお、情報に対し確実に事業マッチングできるものではありませんことを申し添えます。

緑化推進委員会 TEL.0438-60-1521

ハス栽培池の造成(千葉市立瑞穂小)協力:(株)ローソン

震災地域の学校環境教育向上のための緑化(流山市立東小)
協力:全労済

企業とみどり

～緑を愛する元気な企業～

千葉積水工業株式会社「潤いの森」

雑木林を豊かな森に変える

市原市北東部、茂原街道沿いにある潤井戸(うるいど)工業団地内に、千葉積水工業はあります。周辺には緑がたくさん残されていますが、宅地化が進み、工場のすぐ近くにまで住宅が広がっています。

同社では、数年前から企業環境を整えようと、自然保護活動に積極的に取り組んでいます。2010年には、敷地に隣接する2000坪の土地を借入。「潤いの森」と名付けました。

「ここを地域のコミュニティスペースにしたいと考え、雑木林を豊かな森へと変えるプロジェクトを立ち上げました」と、経営管理部の山川直希さんは話します。

社員の家族や地域の人たちにも応援を求め、ゴミや朽木の撤去を開始。草刈りも自分たちで行いました。専門家の意見を仰ぎ、森に残す植物とそうでないものを分別。生物多様性に十分配慮しながら地道な作業を続けました。

人と自然の共存を目指して

「以前、この森で自生していた木や草花、生き物たちを調査しました。その命を取り戻すために森を活用します。つまり、われわれが積極的に森に関わって自然の自己再生力を助けることと、地域との共存を図れる環境をつくることが大切なのです」と山川さん。

現在、「潤いの森」は六つのエリアに分けられ、全長250mの遊歩道で結ばれています。遊歩道には伐採した枝から作ったチップが敷き詰められ、環境に配慮。木には1本ずつ手作りのネームプレートが掛けられています。

緑の芝生のどんぐり広場から森の中に入ると、幼虫たちが息を潜める昆虫エリアへ。隣のきのこエリアには、原木から小さなキノコたちが顔を出しています。巣箱が掛けられているのが、ことりのエリア。実りのエリアには畑が広がり、畑を過ぎると風にそよぐ竹林の中へ。ここが、かぐやの林です。最近では、一度は姿を消した動植物たちと、再び森の中で出合えるようになりました。

「この森が周囲に点在する拠点の一つとなって、失われつつあった命がつながることが、地球規模の環境保護にもなると思います」と、言葉を続けます。近隣の小学生を招き自然観察教室を開催したいと、夢は膨らみます。

DATA
千葉積水工業株式会社
1957年創業。塩化ビニール管等の合成樹脂製品の製造販売を行う。「実せる工場」として、上下水道などのインフラ関連商品の展示やデモンストレーションを行う展示設備を新設。積水化学工業のグループ会社として事業戦力の中核を担う。

1「潤いの森」の中(ウッドチップの遊歩道)　2「潤いの森」入口と看板　3トンボ池

森の名手・名人

(公社)国土緑化推進機構を中心に、全国の緑化推進委員会が展開している「もりのくに・にっぽん」運動。森林を守り育て、その恵みを生かして、持続的に循環させようというものです。そこで、森林に関わる人とそこから生まれた文化に注目し、全国から「森の名手・名人100人」を選定。26年度、千葉県では2名が名手・名人に選ばれました。

加藤 良壽さん(館山市・80歳)〈森づくり部門〉

伐採・造材の現場に57年にわたり従事しています。手ノコの伐採を体験した、数少ない時代の証人の一人。長年現場で培った経験から得た技術は、卓越しています。若い林業従事者には、実践を通して技術を伝承しています。

冨澤 憲治さん(香取郡多古町・66歳)〈森づくり部門〉

大径木の伐採に、豊富な経験に基づく優れた技術を持っています。特に、サンブスギ大径木、境内の大イチョウ、家屋に隣接するケヤキなどを、伐倒方向に正確に伐採します。一緒に仕事を行う林業事業体に伐採を指導しています。

緑の募金は法制化20周年。春季・緑の募金にご協力ください

平成27年度　緑の募金運動
目標額 3,500万円

3月1日から5月31日まで県内全域で「春季・緑の募金」運動を行っています。募金運動の方法は各市町村で異なりますが、募金は当委員会、各市町村窓口、募金箱設置にご協力の企業・団体の事業所等でも受け付けています。皆様のご協力をお願いいたします。

・・・

平成26年度の募金総額は33,457,139円に達しました。お寄せいただいた募金は、学校や公園といった公共施設の緑化や緑の少年団に代表される森林環境学習、また森林ボランティア活動の支援などに大きく役立てられました。また、その一部は世界規模での緑化や森林の整備にも役立てられています。

緑の募金では23年度から26年度の間、全国の募金の一部で、東日本大震災被災地域の緑化・森林整備等の実施を支援してまいりました。被災県である千葉県では浦安市、香取市、旭市、山武市、白子町において、液状化被害地の緑化や津波等被害の甚大な海岸林の再生植樹など、延べ12カ所の事業を実施しました。この場をお借りして全国の皆様にご報告とお礼を申し上げます。

平成26年度 公共施設等の環境緑化事業を実施しました

(公社)ゴルフ緑化促進会並びに県内協力ゴルフ場のご協力のもと、プレイヤーによる緑化協力金を原資に、市町村から希望が寄せられた下記4カ所の公共施設などに植樹を行いました。

柏市青少年センター

市町村	場　所	樹種・本数
市原市	市原市水と彫刻の丘	シラカシ95本
市川市	市道3202号	ヒラドツツジ268本
船橋市	都市計画道路 3・4・25号線	ヒラドツツジ70本 ドウダンツツジ80本
柏市	柏市青少年センター	キンモクセイ37本

国土緑化運動ポスター原画コンクール入賞作品展示会のお知らせ

平成26年度国土緑化運動ポスター原画コンクール入賞作品展示会を下記のとおり実施します。10,615点の応募のなかから選ばれた素晴らしい作品の数々です。次代を担う子ども達の緑や自然に対する思いやメッセージをぜひご覧ください。

当コンクールは平成27年度も実施します。たくさんのご応募をお待ちしております。

期　間	場　所	展示作品
4/13(月)～ 4/24(金)	千葉市中央区市場町1-1 「県庁本庁舎・中庁舎1階連絡通路」 ※土、日曜日は除く	特別賞、特選の 計36点
4/28(火)～ 5/5(火)	千葉市中央区新町1000 「そごう千葉店 地階ギャラリー」 ＊最終日は16:00まで	特別賞、特選、 入選、協賛賞の 計75点
5/14(木)～ 5/22(金)	八街市中央9-11 「千葉信用金庫 八街中央支店」 ※休業日は除く	特別賞、協賛賞 の計15点
5/28(木)～ 6/5(金)	市原市五井中央西1-21-18 「千葉信用金庫 五井支店」 ※休業日は除く	特別賞、協賛賞 の計15点
6/9(火)～ 6/21(日)	印西市原山1-12-1 「県立北総花の丘公園 花と緑の文化館内」 ※休館日は除く	特別賞、特選、 入選、協賛賞の 計75点
6/29(月)～ 7/13(月)	柏市柏の葉4-1 「県立柏の葉公園 公園センター内」	特別賞、特選、 入選、協賛賞の 計75点
8/4(火)～ 8/30(日)	千葉市中央区青葉町977-1 「県立青葉の森公園公園センター内」	特別賞、協賛賞 入選、協賛賞の 計75点
9/1(火)～ 9/18(金)	千葉市稲毛区天台6-5-2 「千葉県青少年女性会館」 ※休館日は除く	特別賞、特選、 協賛賞の 計39点

※会場等都合により展示期間等が変更になる場合もございますので、最新の情報は当委員会ホームページでご確認ください。

表紙の絵

表紙の作品は平成26度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校・低学年の部、千葉県知事賞を受賞した、長谷川 碧さん(小3)の作品です。

グリーンえっせんす vol.32 2015.3
2015年3月発行
発行／（公社）千葉県緑化推進委員会
URL http://www.c-green.or.jp/
〒299-0265　袖ケ浦市長浦拓２号580-148
TEL.0438-60-1521　FAX.0438-60-1522
印刷／凸版印刷（株）　TEL.043-350-5611
※この広報誌は、古紙配合率100％の再生紙を使用しています。